



フィグ・ヤーパン通信

第 26 号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.26

発行日 2006 年 4 月 1 日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

新刊書『プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録（3）』のご案内



プレアデス／プレヤール人との
コンタクト記録（3）
（水瓶座時代出版刊）

装丁：A5 判 ソフトカバー

頁数：234 ページ

定価：2000 円（税込み）

発売：5 月

重量と総量はホームページまたは次号
のフィグ・ヤーパン誌面にてお知らせ
いたします。（現時点で注文は受け付
けておりませんのでご注意ください。）

フィグ・ヤーパンでは、コンタクト記録シリーズの第三弾となる、『プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録（3）』の出版に向けて、最終的な準備作業を進めています。皆様のお手元への配本は、5 月を予定しています。ご注文の受付は、準備が整い次第 5 月にホームページ上で、そしてフィグ・ヤーパン通信第 27 号（7 月発行）にてお知らせします。

『コンタクト記録（3）』には、1975 年 7 月 7 日～1975 年 7 月 17 日にかけて行われた、第 29 回会見から第 31 回会見が収録されています。特に第 31 回会見には、ビリーがプレヤール人の巨大宇宙船に搭乗し、我々の宇宙と異なるダル宇宙まではるばる旅行した際の見聞録が含まれています。その興味深い記録はきわめて多岐にわたり、今後に出版予定の『コンタクト記録（4）』そして『コンタクト記録（5）』まで引き続き分割して収録されます。

ここでは、第 31 回会見に収録されている、ビリーとセミヤーゼ、そしてセミヤーゼの父プターとの会話の一部をご紹介します。

.....

プター：君はそれほど謙虚でなくともよい。

ビリー：ああ、冗談じゃない。君たちがなんだかんだ言うことが私には理解できないんだ。君たちはアラハト・アテルザータと全く同じだ。彼もしょっちゅう森いっぱいの花を撒き散らす。

セミヤーゼ：なぜ？

ビリー：彼は私を偉大な預言者として褒めそやした。まるで私が英知をシャベルですくって食ったかのようにね。それはいささか大仰で当を得ていないと思う。そういう言い方には抵抗を感じる。私はそんな柄ではないからだ。私のことをああだこうだと言いたいなら、はっきり指摘すればいい。君たちやアラハト・アテルザータから教えられたことを伝えているだけで、それ以上のこともそれ以下のこともしていないとね。私は断じて預言者ではない。わけても、アラハト・アテルザータの熱のこもった語り口にはむかついたね。だから私は、当分はこういった水準とはコンタクトを取らないと決めたのだ。私はあの声を押しのけ、それに関してはただの一行も書かなかった。この仕事を続行するかどうか、まずよく考えなければならないよ。私が偉大な預言者

であるというのは非常に具合が悪いし、違和感がある。私は決してそのような者ではあり得ないからだ。もしこのまま続けたら同胞たちは私に詐欺と誇大妄想の罪を着せ、嘘つきと罵^{のし}るだろう。

セミヤーゼ：彼はただ…

プター（セミヤーゼを遮り、すまなそうな表情で私の方に向いて）：セミヤーゼに代わって私から説明しよう。何よりも君がアラハト・アテルザータとのコンタクトを中断したことは非常に残念だ。我々もそれについては知らされており、いろいろ理由を探したが、結局わからなかった。我々がどうしても君について何か知ろうとするまさにそのときに、君はよく自分の思念の流れをブロックする性癖がある。だがいま君のブロックは当然だと思し、理解もできる。私はそれを誤まりだとは見なさないどころか、非常に良い行いだと考えている。たったいま君が表明したことに関して、君の動機が純粋で善良なものであるのは明らかだ。つまり君は特別な存在であろうとはせず、自分のごく普通の人間であると確信しているのだ。これに関して君はあらゆる点で正しく、これに関する君の思考はまさに創造の法則とそれに基づく秩序に適っている。それゆえ君が取った行動は絶対に正しい。だがその結果として、我々自身が怠慢という誤まりを犯すことになった。つまり君は預言者の本来の意味と立場について我々から説き明かされていなかった。それについて君に説明することは我々の義務だった。なぜならば、我々は君が謙虚なことを知っているからだ。この場合、アラハト・アテルザータには全く罪はない。このような水準は君にすべて伝えるだけで、君の方からはいかなる質問もできないからだ。君の質問に答える義務があるのは差し当たり我々だけであり、まさにこの点で我々は義務を怠ったのだ。それゆえ罪は我々にあるのだから、我々はこの誤まりを取り除くことに努めよう。だがそれには少し時間が必要であり、アラハト・アテルザータが再びメッセージを送るまでには数日かかるだろう。きっとこの水準は自ら沈黙を守っているのではないだろうか？

ビリー：その通り。

プター：それは予想されたことだ。というのも、事実関係は絶対確実に認識されたからだ。後は事態が正しく統制されるのを待てばよい。我々の最高法院

はこの水準から君のブロックに関する情報を得たのみで、それ以上は何も知らない。君と預言に関する^{こと}で言うならば、まず第一に、君が獲得した知識は意識と霊の観点で並外れて偉大で非常に豊かであることを自分で認めなければならない。現在君は地球上で、霊の教えおよび霊の法則と掟、そしてそれに伴う英知に関して、君たちの概念では非凡と言われる知識を備えている唯一の人間である。その理由の一つは、君がスファートや何人かの地球人の教師や、ダル宇宙のアスケットから非常に多くの知識を獲得し、真理について教示されたことにある。だが基本的な認識は、君が前生からの記憶のデータバンクのパルスを利用し、また過去に旅行することによって獲得した。さらにこの過去への旅行によって、ひょっとして残っていたかもしれない邪説から徹底的かつ永久に解放されたのだ。地球上では、今日までただ一度しか起きたことのない大胆な企てを意味している。それどころか君は過去への旅行の形態を、我々が持てるすべての手段を駆使してできるようになるよりも前に知り体験した。アスケットが正式に我々とコンタクトを取るようになり、ダル人種からタイムトラベルに必要な機器や装置を製造する方法を教えてもらって初めて、我々はこの形態の旅行ができるようになったのだ。それは地球人の時間計算で四年前のことだが、その何年も前に君はアスケットと君の友人とで最初の過去への旅行を行っていた。このような事情から、君の知識は並外れて膨大であり、その点で君の世界では比べる者がいないのだ。そのことを君は自覚し、それに対する理解を持たなければならない。だからと言って君はその知識のゆえに威張ったり、何が何でも他人の優位に立とうとしたりするべきではない。それは全く問題にならない。君が謙虚であろうとし、また実際そのように振る舞うのは非常に良いことだが、過度に謙虚であってはならない。しかし残念なことに君にはその傾向がある。霊の教えおよび創造の法則と掟、そしてそれと結び付いた英知に関して、並外れて偉大な知識を持っていることを自覚してほしい。もし君がそれを受け入れたなら、誰もそのために君を誇大妄想と罵ることはできないし、またしてはならない。そのように罵るのは無知で愚かな人間か、利己心が強く嫉妬深い人間か、知ったかぶりの人間だけであ

る。我々が君と連絡を取ることができたのも、いま指摘した君の知識と英知のゆえにこそ可能だったのだ。確かに我々は他の地球人ともコンタクトを取っているが、それはごく少数にすぎず、彼らとのコンタクトは無意識のパルスによるものでしかない。君たちが好んで使う言い方をすれば、これらの地球人の誰もが、君の偉大さの足元にも及ばない。私がおのように宣言したからと言って、決して大言壮語しているわけではない。なぜならそれは純然たる真理だからだ。だからこそ私は、君がそれにも関わらず謙虚であろうとし、自分のことで騒ぎ立てたがらないのを非常に喜んでいる。しかし言ったように君は謙虚すぎる。君は君自身の発達、そして君の霊的そして意識的な立場を認めなければならない。称賛もいかなる謝意も拒んでいいが、事実の確認は受け入れなければならない。事実の確認とは、私が君の並外れて鋭い洞察力と極めて論理的な判断力を指摘したことにほかならない。アラハト・アテルザータが君を預言者と見なし、そう呼んだとき、それは一方では創造的霊的なすべての要件に関する君の知識、そして君の英知と愛によって、そして他方では君が非常に高い霊水準から送られてくる極めて重要な霊的かつ画期的メッセージを広めるための受信者であるという事実によって正当化される。これらのメッセージは未来を指し示しており、したがって預言的である。それゆえ君は預言者と呼ばれる。なぜなら君の告知は預言的であるだけでなく、指標となるとともに教訓的だからである。そう呼ぶのは非常に正当であり、そう呼んだからと言って、君の本質と君の人生の大きな力を行使させたり、君を思い上がらせたりすることにはならない。そのような印象は

全く誤まりだが、残念なことに地球上では非常に広まっている。地球人は預言者を力のある者、他のあらゆる生命形態の上に立つ者と見なす。だが真実はそうではない。なぜなら預言者も他の人間と同じ生命形態だからだ。しかし預言者が力を行使する生命形態であるという邪説は、すでに古代において狂信者、いかさま師、詐欺師、宗教指導者などによって意識的に根底に据えられた。民衆の間で自分たちの権力を強固にするためだった。それゆえこれらの邪説に耳を傾けてはならない。なぜならそれらは欺瞞的で誤っており、偽りの観念や印象を呼び起こすからだ。幸いにも君はそうした観念や印象に捕らわれおらず、修正する必要もない。しかし現代の預言者は古代とは全く異なる方法で活動しなければならないということも君は知っておくべきだ。古代の預言者はたいてい人を寄せ付けない未開の山地や地域に住み、ときどき民衆の中に立ち現れて真理の力強い言葉を伝えたにすぎない。その時代はすでに地球の遠い過去に属しており、預言者の活動の広がり、その応用の可能性は根本的に変化した。地球における今日および未来の時代の預言者は、様々な技術装置を補助手段として用いることができる。地球人の大部分は自らの言語を文字によっても習得しているので、預言者の仕事の可能性は非常に高くなったのである。

ビリー：ありがとう、プター。非常に明確に詳しく説明してくれて。実を言うと私は預言者についていままでそんな風に考えたことはなかった。いま初めて預言者のことを知り、君の言うことは完全に正しいと納得した。それについてはもう思い悩む必要はない。
(第31回会見より)

Q&A 質問と回答

□ 2006年最初の読者の質問

2006年に人類は第三次世界大戦に見舞われるかもしれないという預言が実現する可能性はどの程度ですか。ビリーさん、何が起るかご存知ですか。

E. マイアーホーファー (スイス)

□ ビリーの回答

あなたの質問に対しては、2005年11月21日にプターと私との間で行われた第405回公式会見から抜粋した、次の短い会話をもって回答に代えたいと思う。すでに電話でも語ったとおり、この件についてそれ以上のことは言えない。

ビリー

ビリー：詳しく説明してくれてありがとう。次に2006年に関係した質問だが、第三次世界大戦に関する預言的な脅威についてはどうか。これに関して現在の状況はどのようになっているかね。

プター：現在のところ世界の政治的状況はやや落ち着いており、第三次世界大戦の徴候はない。しかし地球人の場合は、ある日、ある瞬間に非常にたやすく違うものに変化することができる。だからこの小康状態が続いて、預言された災厄が起きることがないように祈るばかりだ。というのもジョージ W. ブッシュとその一味の国家権力者たちがまたぞろ気違い沙汰を働けば、その恐れは十分あるからだ。だが、現今の政治的状況は、現在のややプラス方向にさらに前進し、それによって破局と預言の実現を実際に防ぐことができると期待させる。それから、これは言うておかなければならないが、2006年という年が今日の時代計算に従って考えられているのか、それともこの年はイマヌエルが生まれた日から経過し

た時間なのか預言からははっきりしないのだ。後者だとすればキリスト教世界は年が変わってすでに2008年もしくは2010年に入っている。この場合、2006年はすでに2年前に過ぎたことになるだろう。

ビリー：もちろん、その点も考慮しなければならない。ところで君は2006年についてまだ予見していないのかね。

プター：していない。前にも言ったが、我々が地球上の出来事について予見するのは、ほんの数週間前になってからだ。我々がそうするのも、君が私に頼んだからにすぎない。

ビリー：もちろん、それは取り決めたとおりで。

プター：そのとおり。

(出典：FIGU公報第55号27p.)

新刊 勝者と敗者



ドイツ語原文対訳
A6判
27ページ

人生における真の勝利とは何か？ 真の勝利を得るためには何をどうすべきなのか？ その手掛かりとしてビリーは、本当の勝者の在り方や闘争行動を伴うことなく勝利を得る敗者なき勝利の方法を説き、闘争に明け暮れることなしに生きることを学ぶ大切さを論じます。地球人の邪悪で否定的な闘いを根本から問い直し、真実を世界中に訴えるべき時が来ているようです。本書には人間が真の勝利者となるための道が明確に示されています。

A6判ドイツ語原文対訳でご覧いただける小冊子として発行しています。

実に多くの人間がいつでも他人を犠牲にして勝者になろうとしている。そのため彼らは不遜にも自分を他の人間よりも高く評価する一方、他人の中に欠点を見つけ出そうと躍起になっている。そうした欠点は自分自身も持っているのだが、彼らはあまりに意気地がないために、それを自分で認めることができない。逆に、周囲の人間の中に欠点を見つけては、それをあげつらって批判することで、自分が大いに優位に立ち、自分を立派に見せることができるなどと思いつけているのだ。だがそれがとんでもない思い違いであり、自分で自分の首を絞めるようなものだということを、彼らはその愚かさゆえに理解できないのである。要するに事実^{おとし}は、多くの人間が他人を貶めることによって偉そうに自分自身を持ち上げて、実際にあるがままよりも立派に見せたがっていることである。他人の欠点を非難することによって、自分は欠点などない立派な人間であることを見せつけようというわけである。

49 項目の質問と回答

— 生命と人間存在の全般に関する 49 の質問に回答するための道しるべ —

28. 聖書で正しいのはどの部分ですか。昔の預言者の発言がないのはどうしてですか？

Ein offenes Wort

Seite 4, Satz 29-32 und Seite 219, Satz 1536-1538

聖書には人類の極めて古い歴史の一つが断片的に保存されている。が、最も古く完全なものではなく、残念なことに多くの誤りや嘘や捏造が混入している。旧約聖書（バイブル）に書かれている幾つかの点は、非常に慎重に選別して濾過するならば、今日でも神の真実の教えと見なすことができる。聖書は幾多の改革や変革にもまれ、多くの邪説を含み、年代記編者、物書き、狂信者、権力亡者などによって捏造されたにも関わらず、きわめて明瞭に認識できる根本的な教えを保ち続けた。それは唯一創造のみが万物の本当の創造であり、神はこの創造の人間的な被造物にすぎないというものである。新約聖書の幾つかの言葉や文は、本当にイマヌエルが説いた教えであり、妥当なものを見なすことができる。

さて、キリスト教の聖書もユダヤ教のモーゼ五書（聖書を変造した写本であり、モーゼ五書は見分けがつかないまでに偽造されたことが分かっている）も、その他多くのいわゆる「聖なる書」も、初期の頃は（一部は現代でも）サンスクリットに由来する説話と類似の事柄を語るすべを心得ていた。これは聖書の場合、ローマの「聖職」の決定により当該編本が「聖なる書」から削除されるまで、(例のごとく) 正確には地球人が再び真理の探求を開始した時点であった。こうして聖書の最も古く重要な編本、すなわちエノク書が削除され、異端として弾劾されたが、それにもかかわらず（例のごとく）バチカン図書館に収蔵された…

29. 人間はなぜ苦しまなければならないのですか？

Einführung in die Meditation

Seite 143, Satz 129-131 und 139-140

世の中の大半の苦難の主たる原因は、無思慮、自制心のなさ、軽率さ、そして不注意である。つまり世の中の大半の苦難は、故意に行われた悪行から生じたものではない。ほんの一瞬熟考するだけでも、多くの場合、広範に及ぶ一連の罪や大災害やその他の災禍を十分に防ぐことができる。

純粹観察を通じて、与えられた状況における何らかの態度表明あるいは行動が賢明であるかどうか、あるいは必要であるかどうかを熟考するために必要な時間が得られる。それによって、宗教の誤った教えにより人間に植え付けられている、不必要で頼まれない介入や自己干渉にすぐさま飛び付いてしまうといった態度は、徐々に改まるだろう。そこには、内的小および外的な生活に多くの苦悩と非常に多くの不要な紛糾をもたらすもう一つの原因、悪質であるが回避可能な原因が潜んでいる。

30. 人間は地球上にすでにどのくらい長く存在しているのですか。我々の惑星で最初の間人はアダムですか？

Semjase-Block 1

9. Kontakt, Satz 148-153 (Semjase)

すべての副指導者の最高統率者であるセミヤーサ (Semjasa) は、イブと交接しました。彼が見るところイブは人間に最も似た形態を維持した、かなり美しい雌でした。この交接から生まれた子供は男性で、人間の容姿をもっていました。セミヤーサはこの子供をアダム (Adam) と名付けました。これは「地球の人」という意味です。この後の交接から一人の女子が生まれました。セミヤーサは、後年これら二人の「地球の人」が交接すべきことを決めました。その後も多くの子供が生まれ、それらはやがて集団となり、部族を形成するに至りました。これがやがて今日の人類に発展するのですが、人類はそもそもの最初から人種ごとに別々の大陸に分かれて住んでいました。

31. 占星術で正しいものは何ですか？

Semjase-Block 5

66. *Kontakt, Satz 26-32 (Semjase und Billy)*

(セミヤーゼ) シンボルは約 12000 年前に私たちの先祖によって形造られましたが、時とともに何度も変更され、失われもしました。それでも繰り返し発見されては、元の形に造り直されました。それらは再び本来の原形に戻ったので、今日に至るまで保存されたのです。個々のシンボルはそれぞれの星座に固有の極めて特殊な価値を持っています。これらの価値は波動によってすべての生命形態にも伝送されて、生命形態に合わせた性格と相応の特質を持ちます。そしてこれらの特質が物理的なもの、心理的なもの、精神的なものにおいて表現されるのです。

(ビリー) ああ、それはもう占星術の観点だね。

(セミヤーゼ) その通りです。でもこれに関してはすべての星座が重要な意味を持っており、わけても時間は非常に支配的な役割を果たします。占星術の正確な規定値では、時間規定は 1 秒の単位まで極めて大きな意味を持っています。この要因は残念ながら地球の占星術師の間では重要視されていません。なぜなら彼らは自分たちの評価を分単位で計算することを好むからです。そのため普通は、必然的なことですが概ね正しいという結果にしか至らないのです。

32. テレパシーとは何ですか？

Geisteslehre

Lehrbrief Nr. 17, Gedankenwellen

ある人間が何らかの想念を他の人間に伝えようとするとき、それが霊テレパシーでないとすれば、物質的意識と物質的潜在意識を通して行われる。さまざまな集団、組織や機関、教団などで誤まった偽りの主張がなされているが、通常の簡単な想念伝達は霊的な領域からではなく、物質的意識と物質的潜在意識の純粹に物質的な領域から発せられる。つまり主張されているように、ある人間の内的な自己が別の人間の外面に想念を伝達するのではない。

現在まだ地球上で行われ、地球人の間でこれまでに知られている通常のテレパシー形態は、物質的意

識による単純な想念伝達である。

33. エホバとは誰だったのですか？

Semjase-Block 3

39. *Kontakt, Satz 66-72 (Semjase und Billy)*

(セミヤーゼ) あなたは事情をととも良く知っていますね。

(ビリー) 君がそれについて知っているのは大いに結構！ 私が言っているのは昔の「愛すべき神」、私がイシュヴィシュ野蛮人と名付け、一般にエホバさんと呼ばれている神のことだ。

(セミヤーゼ) つまり古代もしくはモーゼの時代の神ですね。

(ビリー) さよう、あのスーパーヒーローのことだ。二重人格者で、一方で自分を創造であると宣言し、すべてを包み込む愛と慈悲と正義について偉そうな口をたたいたかと思うと、手のひらを返すように見境なく無実の人間の命を奪い、命令により何百万という地球人を虐殺させた。

(セミヤーゼ) まったくその通りです。彼の像については良く知っています。あなたがたは彼を聖書の神と読んでいますが、私たちの間では不正で残忍な者と呼ばれています。ほぼ 2150 年前に死を迎えました。非常に邪悪で権力欲の強い生命体で、他の善良なイシュヴィシュと並んで実権を握り、無数の地球人を死と破滅に追いやったのです…

(ビリー) …その男に今日のキリスト教はなおもとんでもない敬意を払っている。

34. 催眠状態とは何ですか。それは有益ですか、それとも危険なものですか？

Geisteslehre

Lehrbrief Nr. 16, Hypnose

すべての催眠状態の原点は強度の集中にある。集中は難しい方法でも簡単な方法でも、いろいろなやり方で習得できる。およそ最も基本的で価値のある方法は、瞑想を習練し、それによって最も価値の高い瞑想集中を生み出すことにある。

催眠や自己催眠、暗示や自己暗示は、人間の生活

において非常に貴重な基礎をなしている。それらは生活のあらゆる領域で応用したり活用したりできる。しかしここで催眠や自己催眠を絶対に否定的な目的のために利用してはならない、ということに厳重な注意を払わなければならない。

35. アストラル移動というものはありますか？

Geisteslehre

Lehrbrief Nr. 26, Der Astralkörper

いわゆるアストラル体についてもありとあらゆる邪説が流布され、人々を混乱させている。とりわけここでまたぞろ幅をきかせているのが超心理学で、

真理について全く無知なるがゆえにこれらの邪説を作り出している。たとえば超心理学の邪説によると、アストラル体は人間の物理的肉体の外部に移動できる。だがそのようなことは実際には絶対あり得ない。そのような場合にアストラル体が物理的肉体を離れたなら、この肉体は数分以内に死に見舞われざるを得ないからである。

真実は、いわゆるアストラル体とは人間の中に宿る純粋な霊的生命体にほかならず、それゆえアストラル水準での、またそこから転生した自我のアストラル水準における道具だということである。つまり正しくはアストラル体は人間の中に宿り、人間を活かしている創造の部分、すなわち霊以外のなものでもない。 (出典：『49 項目の質問と回答』)

フィグ・ヤーパンからのお知らせ

□ これから出る本 □

5月にコンタクト記録シリーズ第3巻となる、『プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録(3)』が出版予定です。現在、版下の作成や、印刷製本の準備を進めています。本書の購読お申し込みは、出版後に受付いたします。出版のご案内は、ホームページあるいは次号のフィグ・ヤーパン通信にて掲載しますので、もうしばらくお待ちくださいますようお願いいたします。コンタクト記録シリーズは、続編となる『コンタクト記録(4)』についても翻訳作業が完了し、校正作業が始められています。いっぽうで、『瞑想入門』については、印刷前の日本語の最終校正を実施中です。『瞑想入門』は次号のフィグ・ヤーパン通信にて出版のご案内をいたします。『アラハト・アテルザータ』は、現在翻訳原稿の校正作業が進められており、秋季の出版を予定しています。この他、小冊子や時事的な内容を含む『FIGU公報』、さらに書籍の新規翻訳出版など、予定が目白押しです。これからもどうぞご期待ください。

□ 類似のホームページにご注意ください □

すでにフィグ・ヤーパン通信第25号で著作権の保護についてお願いしましたが、残念ながらインターネット等を通じて明らかな著作権法違反が続けられています。特に顕著なのは、フィグ・ヤーパンや

FIGU-JAPANあるいは、プレヤール人といった言葉をタイトルにつけ、自説や他説の誤った情報を織り交ぜてフィグ・ヤーパンやビリーの著作を紹介するページです。これについては、原著者のビリーからの警告文が、フィグ・ヤーパンを通じて伝えられています。一方で、フィグ・ヤーパンのメンバーが個人的に開設したホームページであると誤解をされた読者の方がいらっしゃる事が分かっています。現在のところ、私たちフィグ・ヤーパンのメンバーが個人的に開設したホームページはございません。また、フィグ・ヤーパンからの公式な情報は、全て本誌『フィグ・ヤーパン通信』あるいは、「フィグ・ヤーパン公式ウェブサイト」を通じて行われていません。類似のタイトルを付けた悪質なホームページにご注意ください。

□ 住所変更をお知らせください □

年度が始まるこの季節には、住所を変更される読者の方が毎年多くいらっしゃいます。お引越しの際には、フィグ・ヤーパンにも、住所変更のご連絡をお知らせください。住所変更のお知らせは、FAX：042(637)1524、電子メール：jp@figu.orgあるいは葉書にて承ります。なお、『フィグ・ヤーパン通信』の購読停止をご希望の際にも、お手数ですがご一報くださいますようお願いいたします。

出版物のご案内

- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(1)
価格 2,000 円 (税込 送料別 375 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(2)
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- わずかばかりの知識と知覚そして知恵(新風舎刊)
価格 3,150 円 (税込 送料別 870 グラム)
- 宇宙の深遠より 一地球外知的生命プレアデスとのコンタクト (徳間書店刊)
価格 2,940 円 (税込 送料別 550 グラム)
- 日本語版 水瓶座時代の声
価格 各 1,000 円 (税込)
83/2 号 (特集) (送料別 105 グラム)
87/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)
91/1 号 (特集) (送料別 135 グラム)
- 第 235 回会見
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 日本語版 FIGU 公報
6 号 価格 500 円 (税込 送料別 90 グラム)
30 号 価格 500 円 (税込 送料別 155 グラム)
38 号 価格 500 円 (税込 送料別 160 グラム)
- 精神と物質の生命
価格 500 円 (税込 送料別 55 グラム)
- ビリーの少年時代の著作
価格 500 円 (税込 送料別 95 グラム)
- 預言者エレミヤとエリヤの予告
価格 400 円 (税込 送料別 70 グラム)
- エノクの預言
価格 300 円 (税込 送料別 55 グラム)
- 『瞑想入門』の手引き
価格 300 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 地球に平和あれ
価格 300 円 (税込 送料別 55 グラム)
- **勝者と敗者** 新刊!
価格 100 円 (税込 送料別 25 グラム)
- 昨日、今日、明日の心配に関する考察
価格 100 円 (税込 送料別 15 グラム)
- FIGU の原則あるいは人間の原則
価格 300 円 (税込 送料別 40 グラム)
- プレヤール人が地球人に望むこと
価格 200 円 (税込 送料別 30 グラム)

※このページに掲載した以外にも多数の書籍があります。ホームページ等をご覧いただくか、フィグ・ヤーパンまでお問い合わせください。

□ 書籍のご注文について □

すべての書籍・ビデオ類のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍・ビデオ代金に以下の郵便料金を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手同封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

□ 郵便料金表 □

50 グラムまで 120 円	500 グラムまで 290 円
100 グラムまで 140 円	1000 グラムまで 340 円
150 グラムまで 180 円	2000 グラムまで 450 円
250 グラムまで 210 円	3000 グラムまで 590 円

※ 15,000 円以上あるいは 3000 グラムを超える

場合の郵送料は無料です。

□ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758

加入者名：FIGU-JAPAN

(アルファベットで記入して下さい)

金額：送料を含めた合計金額

払込人：あなたの住所、氏名、電話番号

通信欄：購入する書籍名と冊数

フィグ・ヤーパン通信 第 26 号 (無料)

発行日 2006 年 4 月 1 日

発行 フィグ・ヤーパン (FIGU-JAPAN)

住所 〒192-0916

東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305

電話 042(635)3741

FAX 042(637)1524

URL <http://jp.figu.org/>

E-mail info@jp.figu.org

郵便振替 00160-4-655758

加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複製複製することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、フィグ・ヤーパンにご連絡ください。

Copyright (c) 2006 by FIGU-JAPAN. All rights reserved.